

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第7号 平成26年4月26日

今期無安打昌平がいきなり猛打賞&RH (光希も)

打線が繋がりに久々快勝!

	1	2	3	4	5	6	7	R
S	0	0	0	0	2	0	1	3
G	0	1	0	2	4	0	×	7



4/26(土)今期から初参戦した我がチームのSCLがよいよ開幕した。千住新橋野球場に向き、スタンダースとの初戦である。全てが未知数な中での対戦、序盤が大事と誰しもが感じたことだろう。このマウンドに上がったのは光希、前節は1発で沈んだだけに、今日のピッチングも見ものである。その立ち上がりは、三失で走者を出した。次打者を併殺崩れで一塁に走者を残す。この走者への牽制が暴投となり、セカンドへ許進塁。しかし、後続二人を斬り、初回を無失点に抑えた。ゲームが動いたのは2回の攻撃、今まで無安打の昌平が打席に入る、その初球を振り抜くと、左オーバーのRHで1点先制、更に4回には、昌平が今日2本目の安打で出塁、その後二盗、更にPBの間に三塁へ進塁、場面は無死三塁、結局次打者は四球を選択、後続は倒れ、一死一・三塁、ここで、浅沼が中に犠飛を放ち昌平を迎え入れる。そして、深沢の場面でWPで梶原が進塁、そして、4球目を放つと右中間2ベースで梶原が一挙ホームインし、2点目を追加し、3点リードとした。が、チャンスの後にはピンチが来るのが野球、この回の先頭2打者に連続四球を与え出塁を許す。次打者は空三振に斬るも後続に中前安打を放たれ1点失点、更に内野ゴロの間に2点目を許し、その差は1点差となった。しかし、その裏にまたもや動きがあった。この回先頭の哲也が四球を選択、その後二盗を決め無死二塁、しかし、後続二打者は凡打で倒れ二死二塁。ここで、今日2本の安打を放っている昌平が打席に入る。カウント1-1から振り抜かれた打球は中前、これを哲也が好走塁でホームインし4点目。この間にバッターランナーはセカンドまで進塁、更に次打者の時に牽制が逸れ三塁に。更にWPで昌平が生還。更には、光希が今日チーム2本目のRHで4点を挙げ、ほぼゲームを手中に収めた。が、相手も最終回に粘りを見せる。先頭が中前安で出塁、次打者の詰まった三ゴロを裁き一死二塁、しかし、この場面で二者連続の四球を許し、一死満塁とした。そして、リズムが狂った光希がWPで1点を失点するも、空三振と内野ゴロで後続を斬り、ゲームセットとした。

やはり今日の勝因は、4回、5回と適時打が出た事に尽きる。また、当たりが無かった打者にもあたりが出た事が収穫。最近守備の乱れが連鎖にならないので、点を取れば勝てる、という事も分かっている。如何に点を取るか?簡単だが、中々・・・